



京都地本ニュース

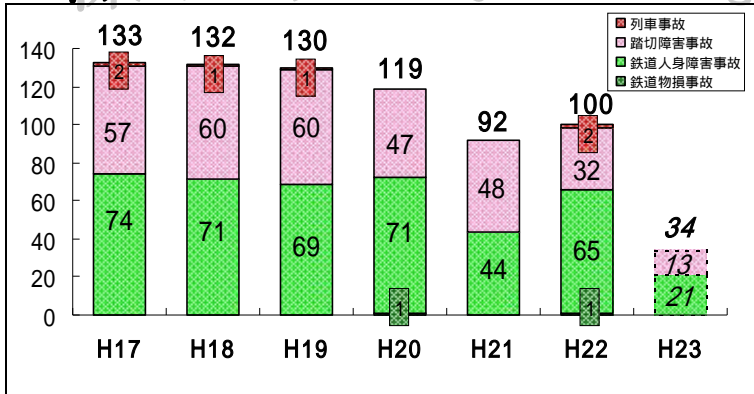
JR西労組
No.249 2012年1月1日

西日本旅客鉄道労働組合 京都地方本部

発行責任者:小川 寛
編集責任者:橋村雄一

〒600-8216 京都市下京区烏丸通塩小路下ル東塩小路町(京都駅構内 忘れ物センター2階) 電話N T T 075-342-0850 J R 078-2401・2402

深めよう絆。いっしょにがんばろうNIPPON!!



福知山線列車脱線事故から今年四月で七年です。今年も年頭にあたり改めて、「決して事故を忘れず、安全最優先の会社を責任組合の立場で創るのだ。」と決意を込めて、お亡くなりになられた百七名のご冥福をお祈り、お心やお体に傷を負われた皆様の一日も早いご快癒を、衷心よりご祈念申し上げます。

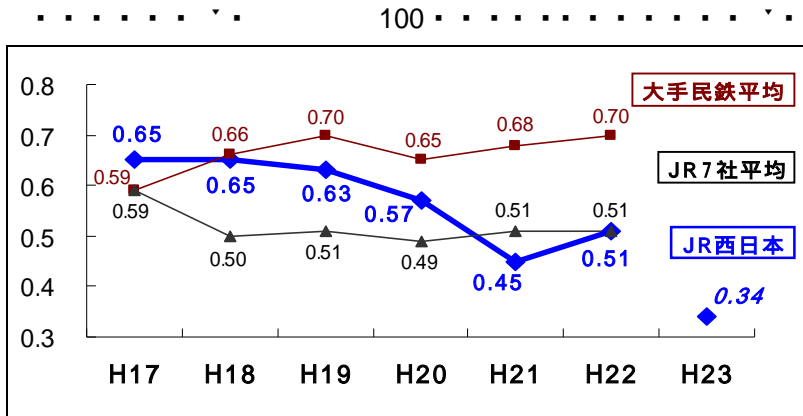
左のグラフのとおり、現場組合員各位の日々の愚直

あけましておめでとうございます

いま出来ることを全力で

JR西労組 京都地方本部

執行委員長 小川 寛



な努力の積み重ねで、鉄道運輸事故は、減少しており、列車走行百万キロあたりの運転事故件数は、大手民鉄やJR七社の平均を下回る状況になっております。

今年も引き続き、愚直にひたむきに『安全・安定・安心』輸送に取り組んでいきたいと考えます。皆様のご理解とご努力をお願い申し上げます。その為、より強固な信頼関係の構築に、取り組みます。

また、東日本大震災に対しては、皆さんにカンパや救済物資にご協力を頂きました。十月には、バスで福島に向かい視察と共に、伊達市での風評被害の事態を聞き、野菜・果物等をバス一杯に買って来ましたが、引き続き出来る支援を企画したいと考えています。

今年JR西労組は、職場討議を重ねて、「職場のあり方」を提言していきますので、皆様の積極的なご参加をお願いします。残念ながら、交通基本法の成立が継続審議となつていますが、少子高齢化や環境問題も深刻になつており、政策活動や、地域と共生する、地域活性化運動にも、これまで積み重ねて来た組織共闘活動や、連帯活動の取り組みを進めます。

昨年は、OSCや九州新幹線相互直通乗り入れの二大プロジェクトがスタートしました。

JR発足から二十五年、JR西労組結成から二十年の記念する年です。先重から受け継いだ運動に自信を持って、組織の強化・充実で足腰を固めなが



ら、皆の力で前進させていきたいと考えていますが、昨年末に気になる事象が発生しています。風通しの良い職場とコミュニケーション作りが安全を最優先する基盤であると、事あるごとに確認をして来ましたが、再度職場内での「絆」と双方のコミュニケーションについて全員で再認識をいただきたいと思っております。

JR西労組京都地本に結集する組合員の皆様の心と体が健康で、本年が皆さんやご家族にとって幸せ多い一年となりまますように、ご祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



二〇一二年

- | | |
|----------|-------|
| 執行委員長 | 小川 治幸 |
| 副執行委員長 | 谷口 利嘉 |
| 副執行委員長 | 川端 明一 |
| 書記 長 | 高林 準 |
| 企画・安全部長 | 柴田 功明 |
| 組織共闘部長 | 松本 幸和 |
| 政治対策部長 | 熊谷 時彦 |
| 業務部長 | 橋本 雄一 |
| 情宣文レク部長 | 塚本 直賢 |
| 政策調査部長 | 東本 智史 |
| 教育部長 | 曹阪 広生 |
| 男女共同参画部長 | 高山 史郎 |
| 福祉対策部長 | 山崎 喜子 |
| 特別執行委員 | 藤田 史郎 |
| 会計監査員 | 戸嶋 直毅 |
| 会計監査員 | 鈴木 直毅 |
| 地本書記 | 東本 直毅 |
| 地本書記 | 田中 直毅 |
| 北摂支部 | 上野 直毅 |
| 京都支部 | 宮田 直毅 |
| 滋賀支部 | 史和 直毅 |

二大プロジェクト体感考動券獲得

2012 () ()

10.000 /

